科目名	進路研究演習２　　Career Challenge Navigation 2						
科目担当者	経営学部教員						
単位数	２	配当年次	２年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］					ディプロマポリシーとの関連	(2)(5)
授業の概要	２年次では１年次に獲得した知識・情報、意欲・態度そして能力の深化を図ると同時に、ライフプランに基づいたキャリアプランの設計を目指す。パネルディスカッションや企業研究を通して社会観・職業観の醸成を図るとともに、自己分析や各種検査を利用してキャリアプランについての考えを深める。 また１年次に引き続き取り組む研究発表やグループディスカッション等により、コミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上を目指す。						
授業の到達目標	学生の各年次段階に応じたキャリア発達を支援し、自己のキャリアを形成していくために必要な知識・情報、意欲・態度そして能力の育成を目的とする。 具体的な目標としては、 ①　社会観・職業観の醸成、 ②　キャリア設計能力の育成、 ③　職業能力（基礎能力）の養成。						

授業計画・内容

1	「年間目標設定」・年間計画説明	16	グループワークトレーニング
2	ＳＰＩ模擬試験	17	先輩の就職体験発表会（パネルディスカッション）
3	一般常識模擬試験	18	キャリアプランニング・アンケート
4	社会と学問（1）イントロダクション	19	
5	社会と学問（2）フィールドワーク事前研究	20	
6	社会と学問（３）フィールドワーク	21	
7	社会と学問（４）調査研究	22	
8	社会と学問（５）発表準備	23	
9	「社会と学問」研究発表会	24	
10	SPI 解法講座	25	
11	就職ガイダンス①	26	
12	グループディスカッション入門（１）概要	27	
13	適性検査	28	
14	グループディスカッション入門（２）実践	29	
15	「自己理解」講座	30	

授業外学修 (事前学修)	各自担当の研究発表のための資料収集･分析および原稿作成。 夏季課題レポート作成と発表のためのレジュメ作成。（通年で 30 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	課題によっては授業内で完結するものではないので、その後の学生生活で引き続き取り組み･実践することが求められる。（通年で 30 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
授業態度（課題への取組姿勢等） 毎時の内容に積極的・意欲的に取り組み、キャリア形成の能力を高めたか。	70%	①②③
研究発表の成果 チームで「社会と職業」の調査研究を行い、プレゼンテーションができたか。	30%	①　②③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	
参考文献	
その他	